No. 375

英検（2級・準1級・1級） ULTIMATE CHEAT SHEET

英検S-CBT（2級）超絶チートシート：従来型との違いと攻略

問題の形式・難易度は従来型と同じ。違うのは「順番・画面・録音・持ち物」。そこを知っていれば、当日の想定外がなくなる。

Web版はこちら

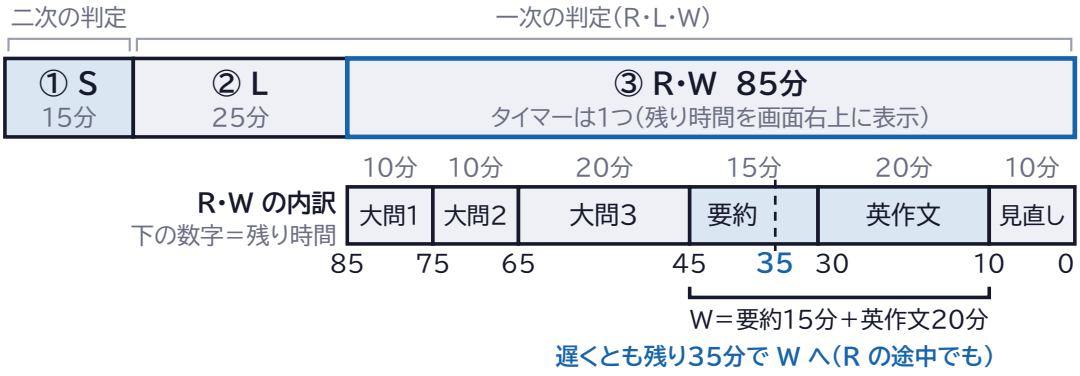
ここだけ3行

1. 順番は S→L→R→W。いきなり「話す」から始まる
2. R・Wは同じタイマー。残り45分でライティングへ
3. 持ち物は印刷した受験票と顔写真付き身分証。筆記用具は会場で貸与

◆ 従来型との違い（2級）

	従来型	S-CBT
日程	一次と二次で2日（二次は一次合格者のみ）	1日で4技能。原則毎週土日（一部の地域は平日も）
順番	R・W → L、後日に面接	スピーキング → リスニング → リーディング → ライティング
時間	R・W 85分／L 約25分／面接 約7分	S 15分／L 25分／R・W 85分（合計約125分は目安）
判定	一次に合格した人が二次（面接）へ	R・L・Wで一次を判定し、一次合格者のみSで二次を判定
スピーキング	面接委員と対面	ヘッドセットで聞き、マイクに吹き込む録音式
L・R の答え方	解答用紙にマーク	画面の選択肢をマウスでクリック
ライティング	解答用紙に手書き	申込時に選んだ筆記型（解答用紙）かタイピング型（キーボード）
メモ	問題冊子に書ける。冊子は持ち帰る	配られたメモ用紙に書く。試験後に回収
筆記用具	HBの黒鉛筆かシャープペンシルを持参	会場で貸与。持参した物は持ち込めない・使えない
受験回数	年3回の検定日	同じ級を同一検定回で3回まで（欠席・棄権も回数に入る）

◆ 図で一発：S-CBT 当日の流れと R・W の時間



横幅＝時間。R・W は85分で共通のタイマー

変わらないこと

問題形式・難易度・級の認定・合格証明書・CSEスコアの尺度は**従来型と同じ**（公式）。合格基準も一次1520・二次460で共通。つまり勉強の中身は変えなくていい。変えるのは**画面と録音への慣れ**だけ。

持ち物（ここで失格にならない）

①**印刷した受験票**（受験者マイページからダウンロードしA4で印刷。モノクロ可。スマホの画面は無効）②**顔写真付き身分証明書**（有効期限内の原本で、受験票の氏名と一致。コピー・スマホ画面・電子学生証は不可）。身分証を忘れても受験票があれば受けられるが、**試験の翌々日 午前9時30分まで**に画像をアップロードしないと認証失格（成績無効）。両方とも無いと受験できない。筆記用具は会場で貸与されるので持って行かなくてよい。

◆ 当日の流れ

6

① **受付・本人確認**
受験票と身分証を出す。受付時刻は時間帯ごとに決まっているので受験票で確認。

② **荷物を預けて着席**
置き場所・机に出せる物は会場の指示どおり。携帯電話などは電源を切る。

③ **ヘッドセット・マイクの確認**
音が聞こえるか、声を拾うか。おかしければ、この時点で手を挙げて係員へ。

④ **スピーキング（15分）**
画面の指示に従って録音。時間が来ると自動で次へ進む。

⑤ **リスニング（25分）**
ヘッドセットで聞き、画面でクリック。最後の問題の解答時間が終わると終了。

⑥ **リーディング・ライティング（85分）**
残り時間は画面右上にまとめて表示。時間内なら見直し・訂正ができる。

◆ 録音スピーキングの鉄則

7

問題の形は面接と同じ（音読→No.1〜No.4）。違うのは相手が画面とマイクであるこ

と。

☐ **1 録音中の表示を見てから話す**
マイクのアイコンが録音中のしるし。早く話し始めると最初の語が残らないおそれがある。

☐ **2 結論を最初の1文で**
時間が来ると自動で次へ進み、途中でも切れる。Yes. / I agree. と理由の1文目を先に言っておけば、答えの核は残る。

☐ **3 沈黙もそのまま録音される**
考える間も Let me see. / Well, と声を出す。無音が続くと、話す意欲が伝わらない。

☐ **4 ふだんより少し大きく、はっきり**
録音には声しか残らない。表情やジェスチャーは伝わらないので、語尾まではっきり言い切る。

☐ **5 Yes / No の質問は即答**
答えないと面接委員の動画が再生し直されるが、回数に限りがある(体験版の案内)。考えるより先に Yes. か No. を言う。

☐ **6 周りの声は気にしない**
同じ部屋のほかの受験者の声が聞こえることもある。ヘッドセットを耳に当て直し、自分の画面だけに集中。

☐ **7 終わった問題は忘れる**
途中で切れても戻れない。深呼吸1回で次の問題に切り替える。失敗を引きずる方が失点が大きい。

◆ R・Wの時間配分(残り時間の表示で見る)

R・Wは85分で共通。表示がこの数字になったら次へ進む。

パート	使う時間	次へ進む残り時間
大問1 短文の語句空所補充(17問)	10分	残り75分
大問2 長文の語句空所補充(6問)	10分	残り65分
大問3 長文の内容一致選択(8問)	20分	残り45分
4 英文要約(45〜55語)	15分	残り30分
5 英作文(80〜100語)	20分	残り10分
見直し	10分	終了

◆ 画面で解くコツ 5

☐ **1 迷ったら仮クリックで先へ**
時間内なら見直し・訂正ができる(公式)。空欄で進まず、仮の答えを選んでから次へ。

☐ **2 メモ用紙を使い切る**
画面には書き込めない。大問3の設問の要点、要約の段落メモ、英作文の理由2つはメモ用紙に。持ち帰れないので書き写しは不要。

☐ **3 長文は指で追えない分、段落で区切る**
画面の長文は今どこを読んでいるか見失いやすい。段落ごとに「一言の要点」をメモしてから設問へ。

☐ **4 残り45分でWへ**
Rに使いすぎると、そのぶんWの時間が消える。残り45分(遅くとも35分)の表示が見えたら、Rの途中でも仮クリックしてWへ。

☐ **5 画面の行き来は体験版で確認**
RとWの画面をどう移動するかは公式FAQに書かれていない。体験版で操作を確かめ、解く順番を決めておく。

◆ ライティング:筆記型かタイピング型か

申込時に選ぶ(申込期間中なら変更できる)。受験票に表示される。

	筆記型	タイピング型
書き方	画面の問題を読み、解答用紙に手書き	画面の問題を読み、キーボードで入力
向いている人	手書きで練習してきた人	英文を打ち慣れていて、書き直しを多くする人
目安	ふだんの手書きのペース	公式FAQは1分間に30文字打てれば支障なしとしている
注意	画面と用紙を目が往復する。写し間違い・行の飛ばしに注意	キーボードの持込み・配列設定の変更は不可。記号の位置を最初に確かめる

◆ S-CBTならではの失敗 6

☐ ~~× 受験票をスマホの画面で見せる~~
○ **A4で印刷して持って行く**
スマホの画面での提示は無効(公式)

☐ ~~× 使い慣れたシャープペンシルを机に出す~~
○ **会場で貸与される筆記用具を使う**
持参した筆記用具は持ち込めない・使えない

☐ ~~× マイクテストを小声で済ませる~~
○ **本番と同じ声の大きさで確かめる**
小声だと本番の声量とのずれに気づけない

☐ ~~× 自動のつづり修正を当てにする~~
○ **自信のない語は確実に書ける語に言い換える**
スペルミスは語彙・文法の減点になる

☐ ~~× タイピングで don't を気軽に打つ~~
○ **do not のように短縮しない形で書く**
短縮形も誤りではないが、改まった答案では短縮しない形が無難

☐ ~~× キーボードの不調を自分で直そうとする~~
○ **手を挙げて係員を呼ぶ**
入力・配列設定の変更はできない

◆ 知っておくと得する決まり 3

☐ **1 一次免除が従来型でも使える**
S-CBTで一次に合格すると一次試験免除の資格が付き、従来型・S-Interviewにも使える。期限は取得した検定回から翌年度の同一検定回まで。使うには申込時に免除申請が必要。

☐ **2 回数は同一検定回で3回まで**
同じ級は同一検定回で3回まで申し込める。欠席・棄権も回数に数えられるので、日程はよく考えて入れる。

☐ **3 証明書に顔写真が入る**
S-CBTの証明書には顔写真が載る(従来型には無い)。どちらも英検の証明書として使える(公式FAQ)。

体験版は「操作の確認用」
公式の体験版(eiken.or.jp/s-cbt/demo/)は、スピーキングが3級、L・R・Wが準2級レベル。スピーキングは録音に対応しておらず、画面・機能も本番と一部異なる。問題の練習ではなく、**クリック・画面の移動・残り時間の見え方・タイピング画面**を確かめるために使う。パソコン(Chrome)とイヤホンを用意する。

なぜ操作に慣れると点が上がる？

頭が一度に処理できる量には限りがある（Baddeley & Hitch 1974）。画面の操作に迷うと、その分だけ英語に使う余裕が減る（認知負荷理論：Sweller 1988）。操作を先に体で覚えておけば、本番は英語だけに頭を使える。

◆ 確認テスト

1 S-CBTの試験の順番は？
a W→R→L→S　b L→R→W→S　c S→L→R→W
d R→W→L→S

2 2026年4月以降、S-CBTの筆記用具は？
a HBの鉛筆を持参　b 会場で貸与される　c ボールペンを持参
d 不要（全部タイピング）

3 このシートの配分では、2級S-CBTで「残り45分」と表示されたら取りかかるのは？
a リスニング　b スピーキング　c ライティング　d 大問1

4 受験票の正しい持って行き方は？
a メールの画面を撮影　b スマホで画面を表示　c A4で印刷
d 番号をメモ

5 S-CBTのスピーキングが採点されて二次の判定に使われるのは？
a 全員　b 一次に合格した人　c 準1級だけ　d 希望者だけ

◆ 公式の体験版と原田英語のアプリ

3

英検S-CBT 体験版（公式）
画面の操作を事前に確かめる。
eiken.or.jp/s-cbt/demo/

英検S-CBT 2級・準1級 合格ナビ
S-CBT受験者向けの技能別対策と毎朝のミニテスト。
haradaeigo.com/scbt/

英検2級 S-CBT スピーキング対策
録音式スピーキングの流れとコツをくわしく。
haradaeigo.com/eiken-2kyu-scbt-speaking-taisaku/

◆ 解答

1 S→L→R→W 最初にスピーキング
2 会場で貸与される 持参品は使えない
3 ライティング 要約15分＋英作文20分＋見直し10分
4 A4で印刷 画面での提示は無効
5 一次に合格した人 R・L・Wで一次を判定

参考資料 日本英語検定協会：英検S-CBT／英検S-CBT：よくあるご質問／英検S-CBT：試験時間／英検S-CBT：試験方法／英検S-CBT：試験当日の携行品／英検S-CBT：一次試験免除について／英検S-CBT：体験版

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）